

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビックママ スーパーキッズ		
○保護者評価実施期間	2025年1月23日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		～ 2025年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成しています。	・日々の子どもたちの様子を連絡帳や送迎時に保護者に伝えたり、モニタリング時や来所時に情報共有を行うことで、職員と保護者との信頼関係を深めています。また、SNSやSMSを活用して、その日の様子を写真や動画で発信しています。	・事業所のオープンデイを設けるなどして、子どもたちの様子や関わりをいつでも見てもらえるように計画を進めています。
2	活動プログラムについて固定化しないように工夫しています。	・株式会社ビック・ママが運営している民間学童施設の機能を生かし、運動療育を含めた諸活動を平日週2回の頻度で実践しています。 ・職員間で相互に教材研究を行い、創作活動、簡単な実験、ソーシャルスキルトレーニング(SST)など、多様な活動プログラムを実施できるよう努めています。	・株式会社ビック・ママが運営する民間学童施設を土曜日に開放し、他事業所の子どもたちとの交流の場として機能させることを検討中です。また、他事業所の職員間の交流の場としても活用することを併せて検討しています。 ・職員間で定期的に教材研究を行い、最新の教材や活動アイデアを取り入れます。職員向けに定期的な研修を実施し、創作活動や実験、SSTの指導方法を学びます。
3	子どもの利用満足度の数値が高水準となっています。	・保護者様から信頼を得るために、ニーズを把握し、子ども一人ひとりの個性に合った活動プログラムの充実を図っております。	・子どもの興味や個性に合わせた新しい活動プログラムを導入します。また、保護者が参加できるオープンデイを定期的に開催し、保護者と子どもが一緒に参加できる活動を企画し、家庭との連携を強化します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種情報の発信力について。	・事業所として、ホームページ、SNSの活用、保護者向けSK通信の発行など情報発信が不定期的にならないよう取り組んでいます。受け手からのフィードバックがないと、情報発信の効果を測定しにくく、改善点が見えにくいことが課題です。	・定期的な情報発信スケジュールを設定し、メッセージを発信します。例えば、月に一度のブログ更新など、計画的に行うことが重要だと考えています。また、アンケートやコメント欄を活用して受け手からのフィードバックを収集し、受け手の反応を把握して次回の情報発信に反映させるなど、工夫したいと考えています。
2	地域連携を含む外部との連携について。	・地域の児童発達支援センターとの連携については適切に行われています。しかしながら、その他の地域とのつながりについては、事業所が市街地にあるという立地条件を十分に生かし切れていない状況です。	・地域商店街主催の防災訓練などに参加し、子どもたちの社会参加を促進します。また、「顔の見える関係」の構築と連携のために、時間を確保することに努めたいと思います。
3	非常時の対応に関する認知度が低いことについて。	・事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、ホームページにも掲載していますが、正しく理解されていない部分が多いと考えています。	・非常時の対応について、SNSでの定期的な情報共有、教室掲示など様々な情報発信手段を用いて、情報伝達に努めたいと思います。